

西暦 2022年 8月 日
7 12

産科婦人科に通院中あるいは通院されたことがある患者さんまたは産科婦人科で実施した研究に参加された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が出ることはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記⑫ お問い合わせ先までご連絡ください。

① 研究課題名	調節卵巣刺激の poor responder を予測する AI モデルの構築
② 倫理審査委員会承認番号	2022-89 号 (承認日 西暦 2022年 7 月 12日)
③ 研究期間	倫理審査委員会承認日～西暦 2023 年 3 月 31 日
④ 研究の目的	生殖補助医療の治療を行う上で、卵巣予備能が低い方に対してどのような卵巣刺激方法がよいかを事前に予測する方法は確立していません。卵巣刺激方法には高刺激法と低刺激法がありますが、卵巣予備能が低い方に高刺激法を用いた場合、一定の割合で卵巣刺激に十分反応せず十分な採卵獲得数を得られないことがあります。その場合は治療に用いる注射薬が不必要に多くなってしまいますが、治療前に高刺激法で反応するかどうかを知る方法がありませんでした。 そこで私たちは生殖補助医療を行った方の血液検査データや超音波検査所見などの治療前情報と、実際その方が

	<p>受けた治療内容、採卵により獲得した卵子数などの情報をカルテから集積して人工知能モデルを用いて分析し、どのような方にどのような卵巢刺激法を使用すべきかを提案するモデルを確立する研究を計画しました。</p> <p>この研究により、モデルが確立すれば治療前に適切な刺激方法をご提案することができるようになり、治療方針の決定に役立つのではないかと考えています。</p>
⑤ この研究の対象となる方	2017年4月1日から2021年12月31日までに本院に来院し生殖補助医療の治療を受けた方
⑥ 研究の方法	この研究では、当診療科で上記期間に生殖補助医療を受けた方のべ約1100名を対象に、治療した当時の臨床情報を用いて解析を行います。
⑦ 利用する情報	血液検査データ、診療記録（治療時年齢、妊娠分娩歴、不妊症の原因、卵巢刺激方法、超音波検査所見、採卵獲得数、FSH製剤投与量、治療による妊娠の有無等）
⑧ 他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑨ 臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：永瀬 智
⑩ 臨床情報を利用する者	<p>研究責任者氏名：永瀬 智</p> <p>主任研究者氏名：竹原 功</p> <p>分担研究者氏名：松川 淳</p> <p>高橋 杏子</p> <p>中井 奈々子</p> <p>中村 文洋</p> <p>金子 宙夢</p>
⑪ 臨床情報の利用停止について	<p>いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。</p> <p>ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。</p>
⑫ 問い合わせ先	<p>山形大学医学部附属病院 産科婦人科</p> <p>〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2</p> <p>TEL：023-628-5393</p>

	Fax : 023-628-5396 E-mail : i-takehara@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名 : 竹原 功
--	---

以上